

平成29年度事業計画

1. 事業実施の方針

今年度は、米国やEU等とのFTA協定や円安飼料高騰等不透明な状況も多いことから、各種の情報を収集すると共に畜産振興に向け行政・団体・業界等からの畜産に係る公募事業や調査及び研究の受託に努めます。また、実施に当たっては専門部会や希望会員による活動を積極的に推進します。

このため、公益社団法人千葉県畜産協会の指導の下、千葉県農場 HACCP 推進指導事業や BSE 検査の協力、家畜飼養、衛生環境等の指導力向上に努めるとともに畜産経営の向上等に向けて支援・推進します。

また、県や関係機関等が取り組んでいる、発酵 TMR の調査研究や 6 次産業化の普及推進に積極的な支援をするほか、生産者と消費者、学校等との交流事業を実施し、児童生徒を対象に家畜と触れあう情操教育の場を提供するなど、消費者への畜産理解と消費の拡大を推進します。

1. 事業活動

(1) 農場 HACCP 構築支援指導 委託(公益社団法人中央畜産会)

本事業は(公社)千葉県畜産協会からの依頼に基づき県内への農場 HACCP の普及推進を図ることとして指導員の育成・派遣等を実施していますが、今年度が最終年度となることから、県内畜産農家への更なる普及と、現在、農場で取り組んでいる農家へ内部検証等更なる飼養衛生管理強化向上の支援に努めます。

(2) 平成29年度死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託(公募千葉県)

事業費：5,562,000円

中央家畜保健衛生所(佐倉)で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する。(会員4名、1年間実施)

2. 畜産研修会：千葉市内等で2回開催予定

3. 人材情報システム運営及び畜産情報収集・提供事業

(1) 本会のホームページのさらなる充実

(2) 千葉県農業大学校から千葉県畜産協会に対して、平成29年度畜産部門9講座の非常勤講師について人材紹介の依頼があり、畜産人材バンク登録者の本会会員を紹介します。本会会員の活躍の場を広げるため、これからも各方面への人材提供に努めます。

4. 畜産団体事務受託事業

(公社)千葉県畜産協会や千葉県酪農農業協同組合連合会等から要請があれば本会員を派遣して事務処理に努めます。

5. 消費者交流・動物情操教育事業

- (1) (公社)千葉県畜産協会や千葉県馬事畜産振興協議会が実施する畜産フェアに参加して、消費者に対して畜産を正しく理解してもらうための広報に努めます。また、他の催しにも積極的に参加し、畜産相談等のコーナーを展開します。
- (2) 千葉県畜産協会や関係団体主催の畜産ふれあい体験交流研修会や親子料理教室・その他への積極的な参加に努めます。

6. 調査・試験研究事業

畜産振興を図るうえで、行政機関や研究機関・畜産団体等からの調査・研究事業を積極的に受託、または協力・支援に努めます。

7. その他

本会の目的を達成するために必要な事業の実施。

8. 理事会等の開催

- (1) 理事会等：本会の円滑な活動を推進するため理事会等は適宜開催します。
- (2) 各部会活動等
上記各事業を適正かつ効率的に実施するため、役員、各部会長の指示のもと、必要に応じて会議を開催するとともに所要の活動を実施します。